

絵本の読み聞かせによる子育て支援の取り組み

——プログラム参加後のアンケート結果の

検討を通して——

“Approach to the childcare support by the story-
telling of the picture book”

:Through the examination of the questionnaire result
after program participation

北村 博文 新川 泰弘

Hirofumi Kitamura, Yasuhiro Niikawa

研究の背景

母子保健法第9条¹⁾によれば、「都道府県及び市町村は、母性又は乳児若しくは幼児の健康の保持及び増進のため、妊娠、出産又は育児に関し、相談に応じ、個別的又は集団的に、必要な指導及び助言を行い、並びに地域住民の活動を支援すること等により、母子保健に関する知識の普及に努めなければならない」とあり、母子保健に関する知識の普及に努める義務が明記されている。

また、母子保健法第10条¹⁾によれば、「市町村は、妊産婦若しくはその配偶者又は乳児若しくは幼児の保護者に対して、妊娠、出産又は育児に関し、必要な保健指導を行い、又は医師、歯科医師、助産師若しくは保健師について保健指導を受けることを勧奨しなければならない」とあり、妊産婦若しくはその配偶者又は乳児若しくは幼児の保護者に対して、妊娠、出産又は育児に関し、必要な保健指導を行う義務が明示されている。

妊娠、出産又は育児に関し、必要な保健指導を行う意義を明らかにする研究もなされており、たとえば、伊藤（2011）²⁾は、絵本の読み聞かせという胎教の動機づけによ

る母親の胎教認識や児に対する愛着、育児不安への絵本の読み聞かせの影響を確認するため、「出産前配布群」(n=25)、「出産後配布群」(n=18)に対して、胎教の動機づけに関する文書と絵本を配布し、妊娠 36 週、産後 3 週間、産後 5 ヶ月、産後 10 ヶ月に、郵送法による自己記入式質問紙調査を行い、エジンバラ産後うつ病調査票、自己肯定感尺度、読み聞かせの認識度から母親の胎教認識、子どもに対する愛着、育児不安による心理的傾向を比較検討している。その結果、「出産前配布群」の愛着形成度は「出産後配布群」よりも高値で経時的上昇を示し($P<0.01$, $P<0.05$)、胎教価値の認識は経産婦より初産婦に有意差を認めた($P<0.01$, $P<0.05$)ことを明らかにしている。さらに、育児不安があると自覚している初産婦の EPDS は「出産前配布群」が「出産後配布群」より低下し($P<0.01$)、自己肯定感が上昇した($P<0.01$)ことも報告している。その上で、母親による胎教の動機づけとしての絵本の読み聞かせが、母親の子どもに対する愛着や胎教認識、育児不安があると自覚している初産婦の母子相互作用に影響を与える育児行動となり得ると指摘する。

このように、妊産婦への母子保健に関する知識の普及と保健指導は大変重要であり、そうした母子保健事業を充実させることには意義がある。そして、母子保健事業の中には、絵本の読み聞かせによる子育て支援も意義があることが明らかにされているが、そうした取り組みの内容の詳細について検討した研究は見当たらない。それゆえに、母子保健事業の中には、絵本の読み聞かせによる子育て支援の効果を明らかにする研究に取り組むことは意義があるといえる。

研究の目的

本研究の目的は、A 市における母子保健事業において取り組まれている絵本の読み聞かせによる「子育て支援の取り組み」の意義をプログラム参加後のアンケート結果により検討することである。

倫理的配慮

アンケート調査実施の際、調査によって得たデータについては個人を特定できないように統計的に処理を行うことを調査用紙に記した。

研究方法

対象 A 市に現在居住している妊産婦で、A 市健康福祉課が主催する「両親教室」の

参加者である。

日時 令和2年9月18日(金) 13:45～15:30 に実施した。

場所 A市保健センター2階で実施した。

方法 絵本の読み聞かせによる子育て支援の取り組みに関する任意による無記名の質問紙を作成し、集合調査により実施した。その後、調査結果を集計し、分析、検討した。

講習会の概要

①質問紙調査の趣旨説明

まず、絵本の読み聞かせ前に自己紹介と下記の質問紙調査の趣旨説明を行った。その後、近年、核家族化・共働き家庭等が増え、保護者の孤立感や育児不安がクローズアップされ、児童虐待やDV等の家庭の増加が問題視されていることについて説明するとともに、母子保健法の中で、妊婦、出産に関し、必要な保健指導を行う義務が明示されていることを解説した。その後、特に保健指導の中で妊婦の出産時の不安・育児不安の軽減について、絵本の読み聞かせが有効であると言われていることと、妊婦における「出産不安」「育児不安」をやわらげることを目的として絵本の読み聞かせによる子育て支援の取り組みを本講習会で実施することについて説明した。

なお、読み聞かせを行う絵本の題材は、「おかあさんが おかあさんになった日」という絵本であり、絵本の読み聞かせの後に、アンケート用紙を配付するため、任意で、アンケートへのご協力をお願いする旨を説明した。また、この絵本を選んだ理由は、出産までの妊婦の状態を知っていただき、病院に出産入院した時の不安の軽減につなげるための絵本として、とても具体的に表現されており、分かりやすい絵本であったからである。

②「おかあさんが おかあさんになった日」の絵本の読み聞かせの実施

絵本の内容

A市における母子保健事業において取り組まれている絵本の読み聞かせによる子育て支援では、長野ヒデ子『おかあさんが おかあさんになった日』³⁾童心社，1993を用いた。その内容は以下のとおりである。

あなたが うまれた日のこと……。

あかちゃんの うまれるよてい日が、とくに すぎたのに、なかなか うまれなかったの、おかあさんは にゅういんすることに なったの。

「だいじょうぶですよ。あかちゃんは げんきです。しんばいしないで、すこしうんどうしなさい。」おいしゃさんは、あかちゃんの げんきな しんぞうのおとも きかせてくれたわ。

うんどうのため、びょういんの なかを さんぼしたのよ。(あかちゃんが う

まれたら、げんきに そだってほしいなあ。)

(あかちゃんが うまれたら、びょうきや けがにも きをつけなければ……。)

おおきなおなかで トコトコと……。びょういんには、レストランや ばいてんも あるのよ。

おひるになっても、まだ あかちゃんは うまれなかったわ。「ほんとうに、あかちゃん、どうしたのかしら……。」「しんばいしなくても、だいじょうぶ だいじょうぶ。」

おかあさんは、みんなに はげまされて あかちゃんが うまれてくるのを まったの。

おひるねもしたわ。でも、まだ うまれなかったの。あかちゃん、げんきに うまれてほしいなあ。

おひるねのあと、シャワーも あびたのよ。

きもちが いいのか、おなかの あかちゃんが、ピクピク ピクピク うごくの。ちいさな あしで トントンも するの。はやく でてらっしゃい、あかちゃん。

あかちゃんも みにいったのよ。(はやく あいたいなあ、わたしの あかちゃんに。)

また、びょういんの なかを さんぽして……。びょういんでは、おかあさんや おとうさんが、あかちゃんを しっかり そだてられるように、いろいろ おしえてくれるのよ。おかあさんも、べんきょうしたわ。

それから、かいだんを のぼって、おへやに かえろうとしたら、おなかが いたくなったのよ。ギュー ギューッと いたいなのよ。

いたいのは、あかちゃんが 「もう うまれたいよ」と いているからなの。おかあさんは、ドキドキしたわ。

ちょうどそのころ、おとうさんは、びょういんに かけつけるところだったの。

いよいよ、あかちゃんを うむための おへやに はいったのよ。

「あかちゃんも がんばっているんですよ。おかあさんも がんばりなさい。」

おいしゃさんも、はげましてくれたのよ。とうとう、うまれるときがきて、「が がんばって！もうすこしですよ！」

「オギャー！ オギャー！」「オギャー！ オギャー！」

「おめでとう！ うまれましたよ。」

「ほうら、げんきな おとこのこですよ。」 「オギャー！ オギャー！」

「わあ！ おかあさんよ、おかあさんよ……。」おかあさんは、うれしくて む

ねが いっぱいになって、なみだが あふれたわ。

はじめての おっぱい。 あかちゃん こんにちは、おかあさんよ。よろしくね。

おなたのおかげで、わたしは おかあさんに なれたのよ。

わたしのあかちゃん、ありがとう。

あなたの うまれた日。

おかあさんが おかあさんになった日。

結果及び考察

参加者数は、9名で、回収率は100%であった。年齢については、20代が4名、30代が4名、40代が1名であった。初めての妊娠かどうかという点については、初産婦が8名、経産婦が1名であった。A市での在住期間については、1年以内が2名、2～5年が4名、6～10年が2名、11年以上が1名であった。

出産・子育てに対する不安度については、得点1から5までの間に分布し、得点1は「不安はない」、得点5は「不安がある」とし、得点が高いほど不安度が高いことを示しており、出産の不安度に対する回答は、不安度3が4名、不安度4が3名、不安度5が2名であったことから、「やや不安がある」と「不安がある」を合わせて約半数を占めていた。また、子育てに対する不安に対する回答は、不安度1が1名、不安度2が1名、不安度3が2名、不安度4が4名、不安度5が1名であったことから、「やや不安がある」と「不安がある」を合わせて約半数を占めていた。

絵本を聞いて出産及び子育てへの不安に関する気持ちの変化についても、得点1から5までの間に分布し、得点1は「不安が増えた」、得点5は「不安が減った」とし、得点が高いほど不安が減ったことを示しており、出産不安に関する気持ちの変化は、不安減少度3が6名、不安減少度4が3名であったことから、「やや不安が減少した」との回答は3分の1にとどまっていた。絵本を聞いた後の子育て不安に関する気持ちの変化については、不安減少度3が6名、不安減少度4が3名であったことから、こちらについても、「やや不安が減少した」との回答は3分の1にとどまっていた。

年齢別でみると、出産不安度の平均値は、20代(4名)、30代(4名)、40代(1名)4であった。また、子育て不安度の平均値は、20代と30代(8名)は3.25、40代(1名)4であった。出産不安変化度の平均値は、20代3、30代3.5、40代4であった。子育て不安変化度の平均値は、20代3、30代3.5、40代4であった。

これらの結果から、年齢が高くなるほど、出産不安と子育て不安は高くなっていたものの、絵本の読み聞かせ後には出産不安と子育て不安が軽減されていることがうか

がえた。

在住期間別にみると、出産不安度の平均値は、1年以内（2名）4、2～5年（4名）4で、6～10年（2名）3、11年以上（1名）4であった。子育て不安度の平均値は、1年以内（2名）4、2～5年（4名）3.75、6～10年（2名）3、11年以上（1名）1であった。これらの結果から在住機関が短いほど出産不安と子育て不安のいずれにおいても高くなり、在住期間が長くなるほど出産不安と子育て不安は低くなることが示唆された。

また、在住期間別の出産不安変化度の平均値は、1年以内（2名）3.5で、2～5年（4名）3.25、6～10年（2名）3.5、11年以上（1名）3であった。子育て不安変化度の平均値は、1年以内（2名）3.5、2～5年（4名）3.25、6～10年（2名）3.5、11年以上（1名）3であり、変化は見受けられなかった。

次に、9名の個別の回答結果を通して絵本の読み聞かせによる子育て支援の取り組み結果への若干の考察を加えることとする。

Aさんは、30歳代の初産で6～10年間A市に居住している。また、出産不安度と子育て不安度については、出産不安度3であり、自由記述の中で「無事に出産にたどり着けるか？1人の時に破水や強い陣痛が来たら対応できるか」の心配があり、子育て不安度4で、「朝起きるのが苦手で、子どもにあたったりしないか」を心配している。そして、絵本の読み聞かせを聞いてからの出産不安と子育て不安に関する気持ちの変化については、出産不安の変化度4、子育て不安の変化度4とのことであり、やや変化していると回答している。また、この絵本の読み聞かせを聞いてよかったと思うことは、「お腹の中に赤ちゃんがいる実感があまりなかったのですが、生まれてくるその日が楽しみになった」と答えている。Aさんは出産のリスクについて心配しており、その不安やストレスから子どもに悪影響を及ぼさないか、危惧していたが、絵本の読み聞かせにより、子どもの出産を楽しみにできるような心境の変化の気づきがあったことがうかがえる。

Bさんは、30歳代の初産で2～5年間A市に在住している。出産不安度3で、「母子ともに無事に出産できるか」といっており、子育て不安度3で、「ちゃんと育ってくれるか」を心配していた。読み聞かせ後の出産不安の変化度は4、子育て不安の変化度3で、絵本を聞いてよかったことについては「赤ちゃんに早く会いたくなった」と回答し、出産不安度はやや減少したが、子育て不安は変わらなかった。

Cさんは、40歳代の初産で1年以内の在住期間であった。出産不安度4で、「無事に生まれてきてくれたらよい」と言っており、子育て不安度4で、「里帰り出産後、大阪に帰ってきてからが不安」と述べている。読み聞かせ後の出産不安の変化度は4で、子育て不安の変化度も4であった。絵本を聞いてよかったところは、「お母さんの気

持ちがよく表れていて、自分も頑張ろうという穏やかな気持ちになりました」と回答し、出産不安、子育て不安はややあり、読み聞かせ後の変化も、ややあるとのことであった。

Dさんは、30歳代の初産で2～5年間A市に在住している。出産不安度5で、「陣痛ってどんなかな?」とっており、子育て不安度4で、「健康に育ってくれるか」を心配していた。読み聞かせ後の出産不安の変化度は3、子育て不安の変化度4であった。絵本を聞いてよかったことについては「生まれた時の涙が出た瞬間が同じ気持ちだった」と回答し、出産不安はあったが、変化なく、子育て不安はややあり、その不安はやや減少したとのことであった。

Eさんは、20歳代の初産で2～5年間A市に在住している。出産不安度5で、子育て不安度5であり、不安度が一番高かった。読み聞かせ後の出産不安の変化度は3、子育て不安の変化度3であり、不安は高いものの、変化は見受けられなかった。

Fさんは、20歳代の初産で2～5年間A市に在住している。出産不安度3で、「新型コロナウイルス感染について」気にしており、子育て不安度3で、「近くに頼れる人がいないため、何かあった時に不安にならないか」を心配してる。読み聞かせ後の出産不安の変化度は3、子育て不安の変化度3であり、不安・変化いずれも、どちらとも言えなかったとのことであった。

Gさんは、20歳代の初産で1年以内の在住である。出産不安度4で、「問題なく生まれるか」と言っており、子育て不安度4で、「初めてなので全般に心配がある」と記述している。読み聞かせ後の出産不安の変化度は3、子育て不安の変化度3であった。絵本を聞いてよかったことについては「ゆっくりと妊婦の時を楽しもうとおもいました」と回答し、不安は高いものの、変化は見受けられなかった。

Hさんは、20歳代の初産で11年以上A市に在住している。出産不安度4で、子育て不安度1であった。読み聞かせ後の出産不安の変化度は3、子育て不安の変化度3であった。絵本を聞いてよかったことについては「出産のイメージができた」と回答し、出産への不安はややあるものの、子育て不安はなく、読み聞かせ後の変化もなかった。

Iさんは、30歳代の経産婦で6～10年間A市に在住している。出産不安度は3で、「スムーズにお産が進むかどうか」と言っており、子育て不安度は2であった。読み聞かせ後の出産不安の変化度は3、子育て不安の変化度3であった。絵本を聞いてよかったことについては「生まれてきた子に語り掛けるように書かれているのがとても良いなあと思いました」と回答し、不安なく、変化もないとのことであった。

まとめと今後の課題

本研究では、A市における母子保健事業において取り組まれている絵本の読み聞かせによる子育て支援のプログラム参加後のアンケート結果を検討した。その結果、年齢が高くなるほど、出産不安と子育て不安は高くなっていたものの、絵本の読み聞かせ後には出産不安と子育て不安が軽減されていることがうかがえた。また、A市の在住期間が短いほど出産不安と子育て不安のいずれにおいても高くなり、A市の在住期間が長くなるほど出産不安と子育て不安は低くなることが示唆された。しかし、A市の在住期間による出産不安と子育て不安の変化は見受けられなかった。

なお、本研究の結果については、今回の講習会に限ったことであり、あくまでもA市において実施した絵本の読み聞かせによる子育て支援講習会参加者へのアンケート調査結果の考察にとどまっており、その点は本研究の限界である。それゆえに、今後は量的調査に取り組むことにより、実証的研究を行い、実態を明らかにしていきたい。

しかし、伊藤(2011)²⁾は、母親による胎教の動機づけとしての絵本の読み聞かせが、母親の子どもに対する愛着や胎教認識、育児不安があると自覚している初産婦の母子相互作用に影響を与える育児行動となり得ると指摘する。そのため、今回参加された保健センターにおける絵本の読み聞かせによる子育て支援参加者の追跡調査を行うことで、絵本の読み聞かせや子育てに関する考え方や行動がどのように変化したか明らかにする研究についても取り組んでいきたい。さらに、今後は保健センターでの絵本の読み聞かせによる子育て支援だけでなく、地域子育て支援拠点における絵本の読み聞かせによる子育て支援に関しても検討することも研究課題である。

引用文献

- 1) 保育福祉小六法編集委員会(編). (2020) .保育福祉小六法.みらい.
- 2) 伊藤由美. (2011) .母親による胎教の動機づけとしての絵本の読み聞かせにおける育児不安への影響.母性衛生.
- 3) 長野ヒデ子. (1993) .おかあさんが おかあさんになった日.童心社.

参考文献

- 1) 成田 伸・前原澄子. (1993) .母親の胎児への愛着形成に関する研究.日本看護科学会誌.

謝辭

本研究に快くご協力いただいた妊産婦の皆様をはじめ関係機関の皆様に、この場をお借りし深く感謝の意を表します。

資料

「地域子育て支援に関するアンケート調査」ご協力をお願い

絵本の読み聞かせ講習会の意義と取り組みの成果を明らかにしていくことを目的として、任意による本アンケート調査を実施することといたしました。また、アンケート調査結果は研究と研修・教育の目的以外には使用いたしません。調査結果はすべて統計分析した上で、大学研究紀要に公表し、実践現場へ還元したいと考えております。なお、本質問紙に回答いただいた結果は、データが漏えいしないように厳重に管理するとともに、回答結果はすべて統計処理いたします。本研究の趣旨をご理解いただきました上で、本質問紙への回答のご協力をお願いいたします。

質問 1. 年齢

• 10代 () • 20代 () • 30代 () • 40代 ()
• 50代以上 ()

質問 2. 初めての妊娠ですか

・初めての妊娠 () ・第二子の妊娠 () ・第三子以上の妊娠 ()

質問 3. 柏原市にどれくらい住んでいますか？

・ 1 年以内 () ・ 2 ~ 5 年 () ・ 6 ~ 10 年 () ・ 11 年以
上 ()

質問 4. 出産に対する不安はありますか？

不安はない ⇒ 不安がある

1 2 3 4 5

出産に対する心配ごとがあればお書きください。

質問 5. 子育てに対する不安はありますか？

不安はない =====⇒ 不安がある

1 2 3 4 5

子育てに対する心配ごとがあればお書きください。

()

質問 6. 『おかあさんがおかあさんになった日』を聞いての感想をお聞きます。

① 出産への不安に関する気持ちの変化はありましたか？

不安が増えた =====⇒ 不安が減った

1 2 3 4 5

② 子育て不安に対する気持ちの変化はありましたか？

不安が増えた =====⇒ 不安が減った

1 2 3 4 5

質問 7. 『おかあさんがおかあさんになった日』を聞いてよかったことを自由にお書きください。

質問 8. 『おかあさんがおかあさんになった日』を聞いて改善すべき点を自由にお書きください。

以上、ご協力ありがとうございました。